



## 第2章 高齢者を取り巻く現状





## 第2章 高齢者を取り巻く現状

### 1 高齢者等の現状

#### (1) 人口等の状況

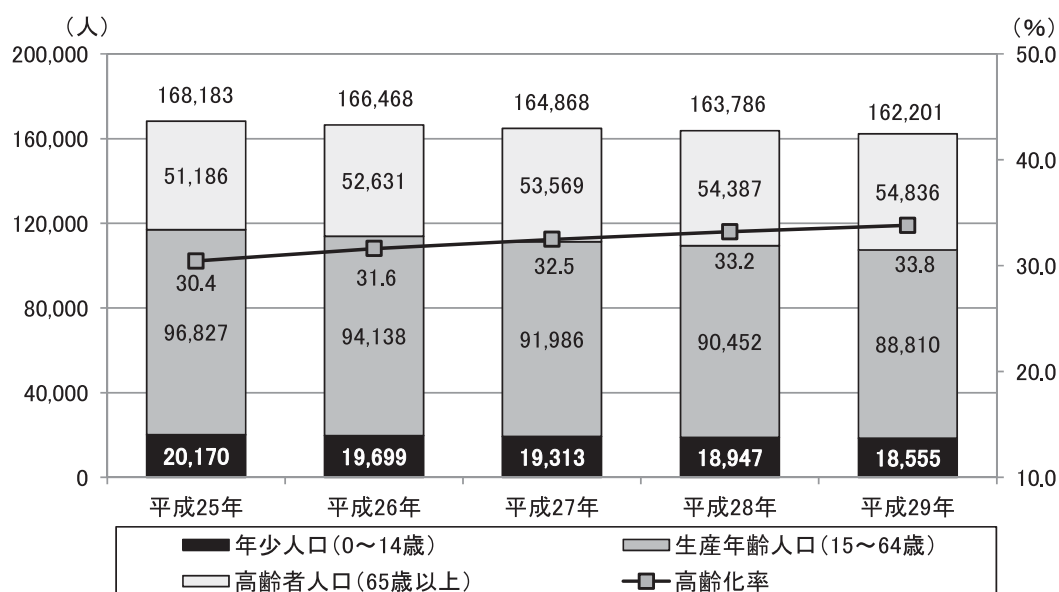
年齢3区分別の人口構成をみると、年少人口（0～14歳人口）は減少しており、生産年齢人口（15～64歳人口）も同様の傾向がみられます。これに対し、高齢者人口（65歳以上人口）は年々増加しており、平成29年9月末日における高齢者人口は54,836人となっています。

高齢化率は平成25年では30.4%だったのに対して、平成29年には33.8%と少子高齢化がさらに進行しています。

#### ■人口の推移

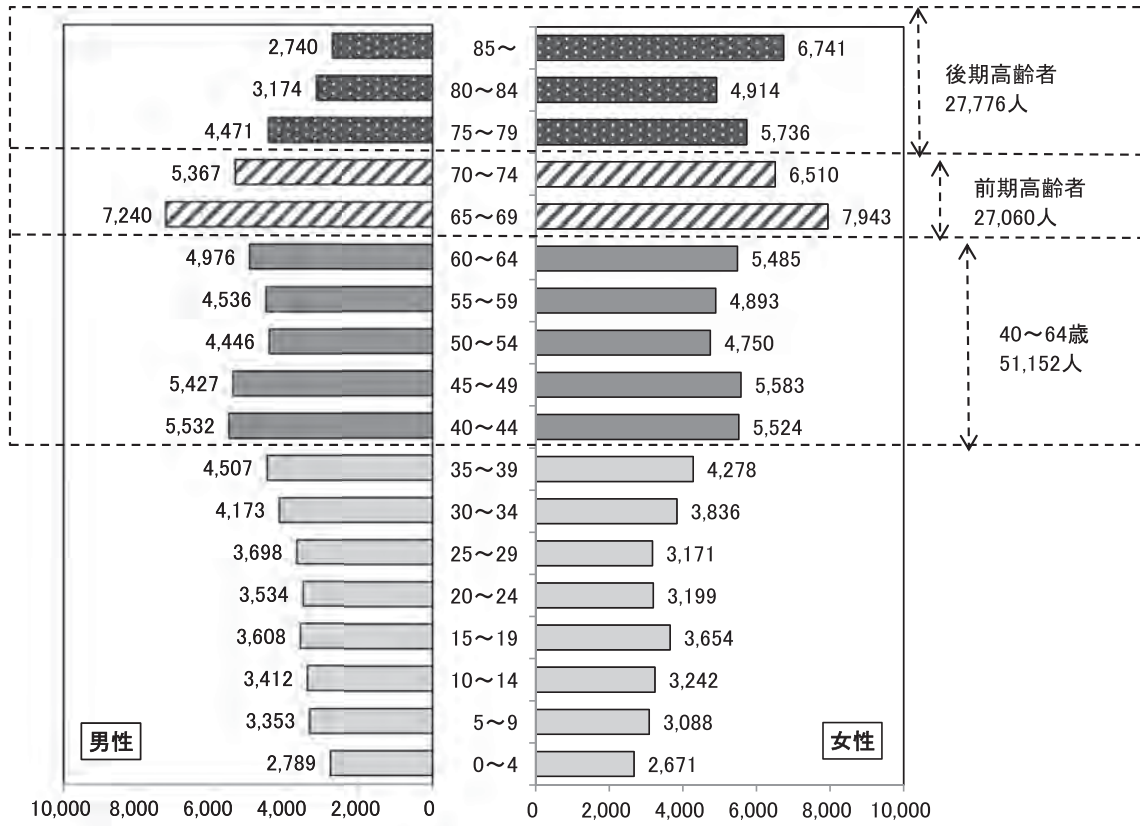
単位：人、%

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口	168,183	166,468	164,868	163,786	162,201
年少人口 (0～14歳)	20,170	19,699	19,313	18,947	18,555
総人口比	12.0	11.8	11.7	11.6	11.4
生産年齢人口 (15～64歳)	96,827	94,138	91,986	90,452	88,810
総人口比	57.6	56.6	55.8	55.2	54.8
高齢者人口 (65歳以上)	51,186	52,631	53,569	54,387	54,836
総人口比	30.4	31.6	32.5	33.2	33.8



資料：住民基本台帳（各年9月末日現在）

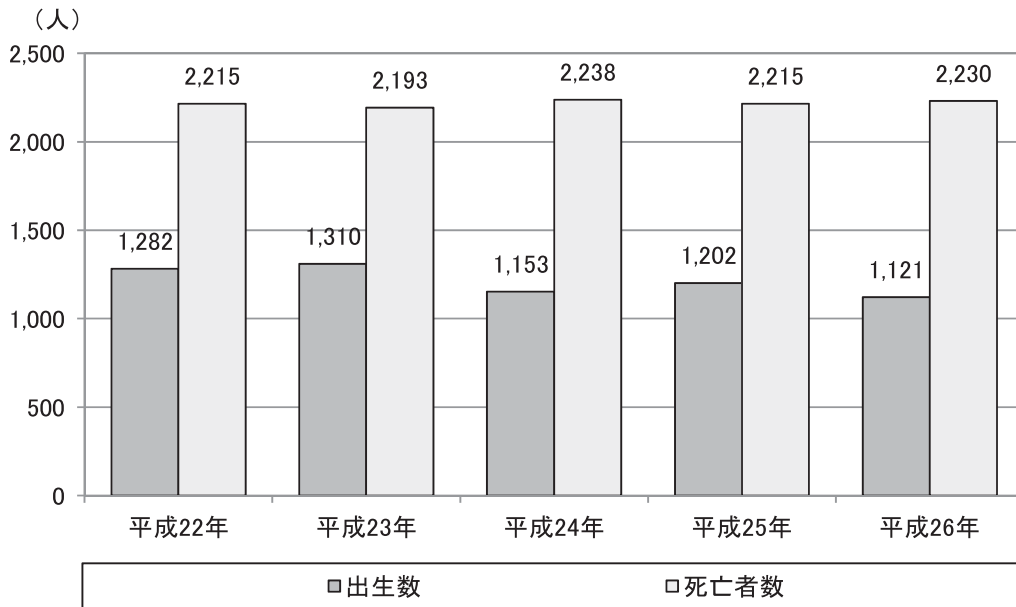
(單位：人、歲)



資料：住民基本台帳（平成 29 年 9 月末日現在）

死亡数は近年 2,200 人前後で推移しています。出生数は若干の増減があるものの、経年的にみると減少傾向にあり、死亡数が出生数を超過する自然減となっています。

### ■出生数と死亡数の推移



資料：愛媛県保健統計年報

本市の平均寿命は、平成 17 年（2005 年）から平成 22 年（2010 年）にかけて、男女ともに伸びていますが、国や県と比較すると、平均寿命は短くなっています。

### ■平均寿命の国・県との比較

区 分		平成 17 年	平成 22 年
今治市	男性	77.8 歳	78.8 歳
	女性	85.2 歳	86.2 歳
愛媛県	男性	78.3 歳	79.1 歳
	女性	85.7 歳	86.5 歳
国	男性	78.8 歳	79.6 歳
	女性	85.8 歳	86.4 歳

資料：市町村別生命表

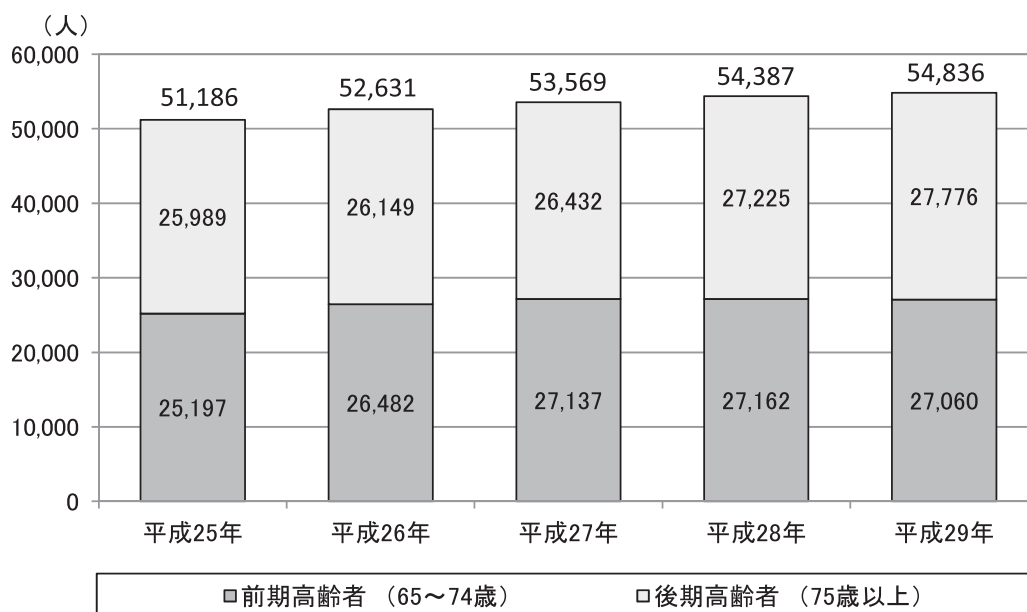
## (2) 高齢者人口の状況

高齢者人口の推移をみると、平成28年までは65～74歳の前期高齢者、75歳以上の後期高齢者ともに年々増加しています。平成29年には前期高齢者が減少へと転じていますが、後期高齢者は前年より大幅に増加しています。高齢者人口全体としては毎年増加傾向にあり、平成25年の51,186人から平成29年には54,836人と、4年間で3,650人の増加となっています。

### ■前期・後期高齢者人口の推移

単位：人、%

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
高齢者人口	51,186	52,631	53,569	54,387	54,836
前期高齢者 (65～74歳)	25,197	26,482	27,137	27,162	27,060
高齢者人口比	49.2	50.3	50.7	49.9	49.3
後期高齢者 (75歳以上)	25,989	26,149	26,432	27,225	27,776
高齢者人口比	50.8	49.7	49.3	50.1	50.7



資料：住民基本台帳(各年9月末日現在)

高齢化率の状況を全国及び愛媛県と比較すると、全国及び愛媛県より高齢化率が高い状況となっています。

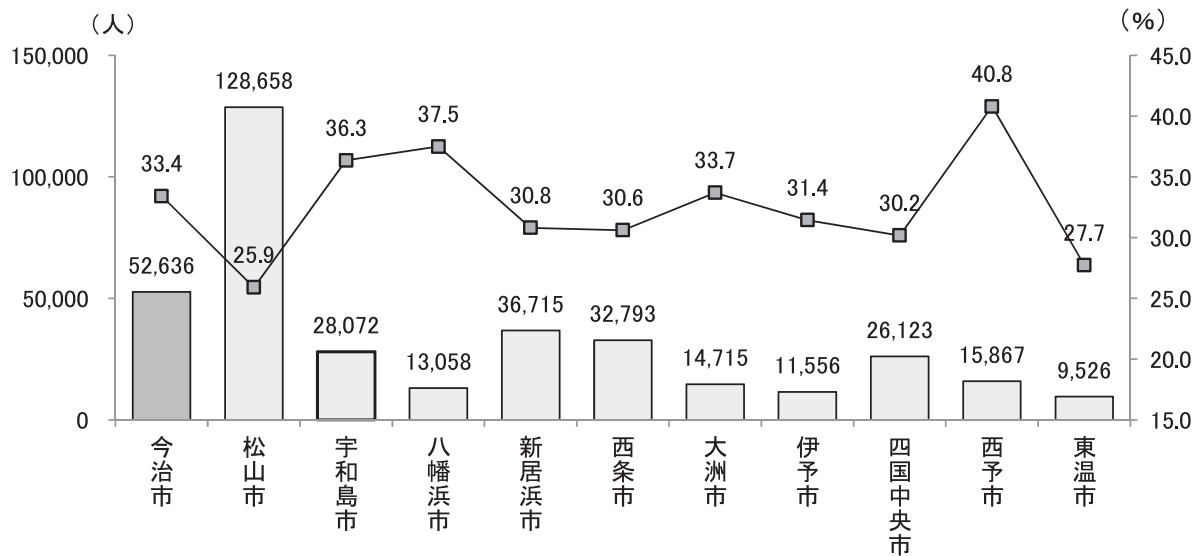
また、県内の他市と高齢化率を比較すると、11市の中で5番目に高く、愛媛県の中でも高い状況にあることがうかがえます。

■高齢化率の推移比較

区 分	平成22年	平成27年	
	高齢化率	高齢者数	高齢化率
全 国	23.0%	33,465,441人	26.6%
愛媛県	26.6%	417,186人	30.6%
今治市	28.7%	52,636人	33.4%

資料：国勢調査

■高齢化率の比較（県内11市）



資料：国勢調査（平成27年）

### (3) 世帯の状況

世帯の推移をみると、65歳以上の親族のいる世帯は世帯数および一般世帯に占める割合ともに増加しており、平成27年には34,127世帯で51.0%となっています。また、高齢夫婦世帯、高齢単身者世帯についても世帯数、一般世帯に占める割合ともに増加しています。

#### ■世帯の推移

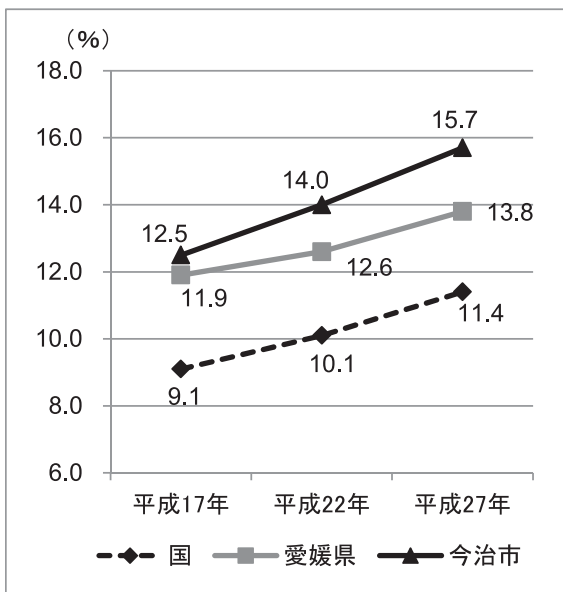
単位：世帯

区 分		平成17年		平成22年		平成27年	
		世帯数	一般世帯に占める割合	世帯数	一般世帯に占める割合	世帯数	一般世帯に占める割合
一般世帯	国	49,062,530	100.0%	51,842,307	100.00%	53,331,797	100.0%
	愛媛県	581,003	100.0%	589,676	100.00%	590,629	100.0%
	今治市	68,888	100.0%	68,131	100.00%	66,974	100.0%
65歳以上の親族のいる世帯	国	17,204,473	35.1%	19,337,687	37.3%	21,713,308	40.7%
	愛媛県	232,222	40.0%	247,095	41.9%	268,765	45.5%
	今治市	29,639	43.0%	31,439	46.1%	34,127	51.0%
高齢夫婦世帯	国	4,487,042	9.1%	5,250,952	10.1%	6,079,126	11.4%
	愛媛県	69,016	11.9%	74,370	12.6%	81,216	13.8%
	今治市	8,635	12.5%	9,529	14.0%	10,512	15.7%
高齢単身者世帯	国	3,864,778	7.9%	4,790,768	9.2%	5,927,686	11.1%
	愛媛県	61,097	10.5%	69,375	11.8%	81,356	13.8%
	今治市	8,051	11.7%	8,886	13.0%	10,155	15.2%

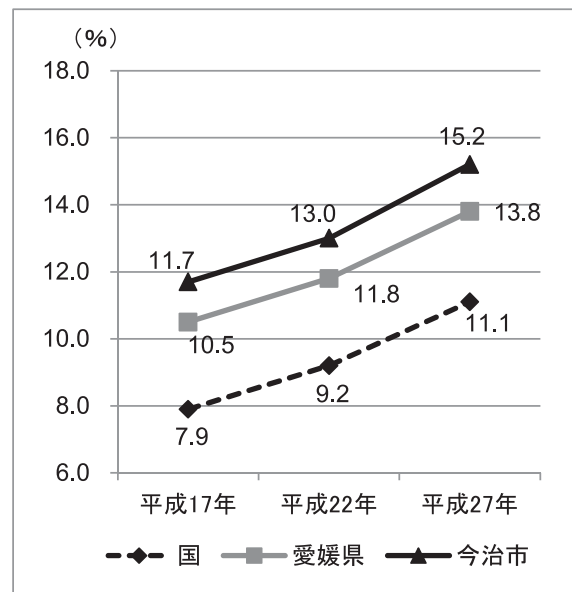
※高齢夫婦世帯…夫65歳以上妻60歳以上の1組のみの一般世帯

資料：国勢調査（平成27年）

高齢夫婦世帯割合の推移



高齢単身者世帯割合の推移





#### (4) 要支援・要介護認定者の状況

要支援・要介護認定者の推移をみると、第2号被保険者が減少している一方で第1号被保険者数は年々増加しています。特に後期高齢者については、平成25年の9,197人から平成29年には9,963人と766人増加しており、前期高齢者に比べて増加が著しくなっています。

##### ■要支援・要介護認定者数の推移状況

(単位:人)

区 分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
第1号認定者数 (65歳以上)	10,471	10,794	10,945	11,127	11,277
前期高齢者(65～74歳)	1,274	1,355	1,393	1,378	1,314
後期高齢者(75歳以上)	9,197	9,439	9,552	9,749	9,963
第2号認定者 (40～64歳)	276	256	246	230	205
第1号・2号認定者総数	10,747	11,050	11,191	11,357	11,482

資料：介護保険事業状況報告（各年9月末日現在）

##### ■要支援・要介護認定者数と認定率の推移

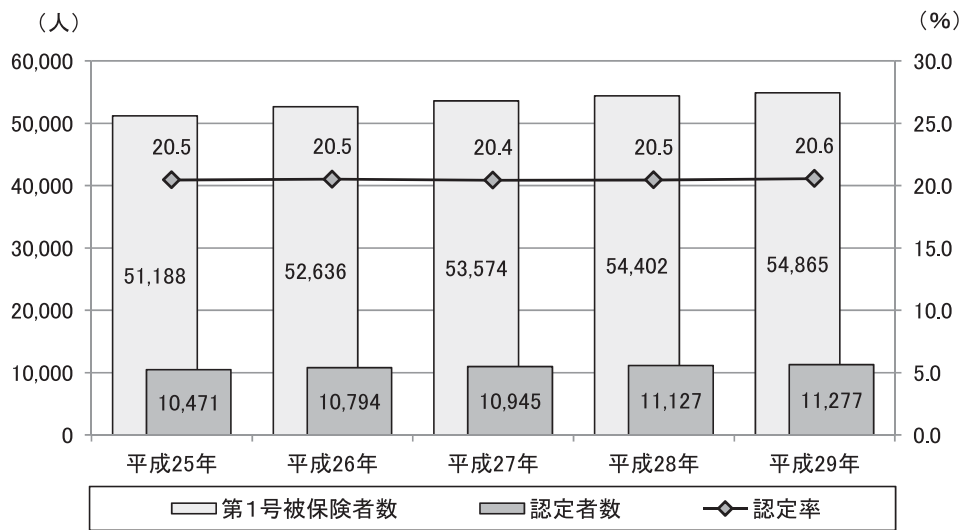
単位:人、%

区 分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
第1号被保険者数	51,188	52,636	53,574	54,402	54,865
認定者数	10,471	10,794	10,945	11,127	11,277
認定率	20.5	20.5	20.4	20.5	20.6
要支援1	1,217	1,310	1,326	1,324	1,325
認定率	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4
要支援2	1,397	1,409	1,465	1,501	1,546
認定率	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8
要介護1	1,809	1,966	2,031	2,226	2,248
認定率	3.5	3.7	3.8	4.1	4.1
要介護2	1,931	1,951	1,965	1,946	1,990
認定率	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6
要介護3	1,447	1,532	1,504	1,481	1,485
認定率	2.8	2.9	2.8	2.7	2.7
要介護4	1,251	1,251	1,262	1,264	1,306
認定率	2.4	2.4	2.4	2.3	2.4
要介護5	1,419	1,375	1,392	1,385	1,377
認定率	2.8	2.6	2.6	2.5	2.5

※第2号被保険者を除く

資料：介護保険事業状況報告（各年9月末日現在）

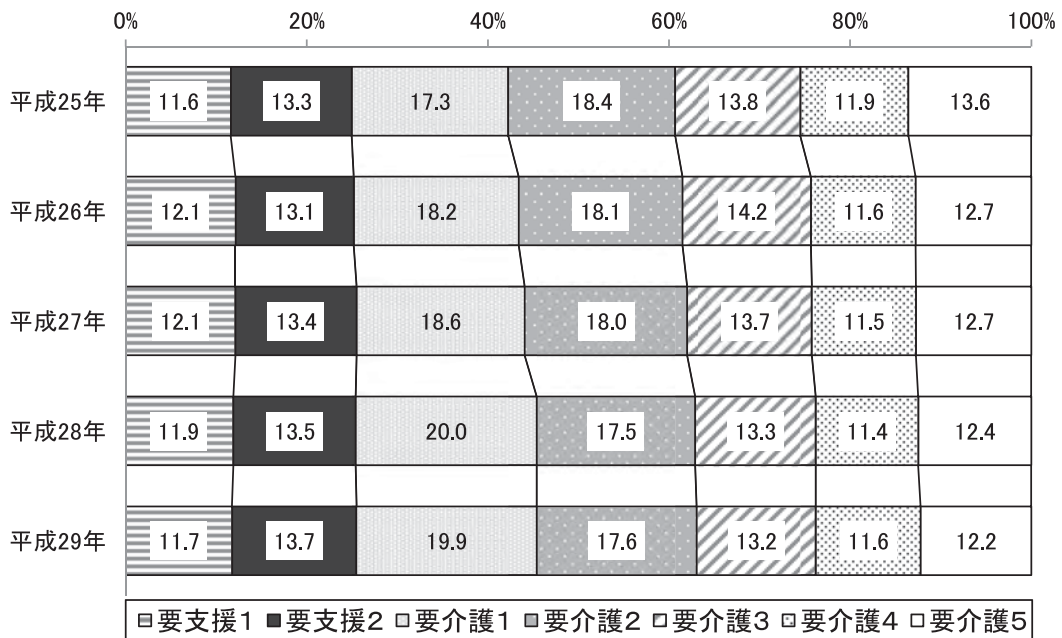
■ 認定者と認定率の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末日）

要支援・要介護度別に認定割合の推移をみると、要介護1の割合は増加し、要介護2と3の割合は減少しています。

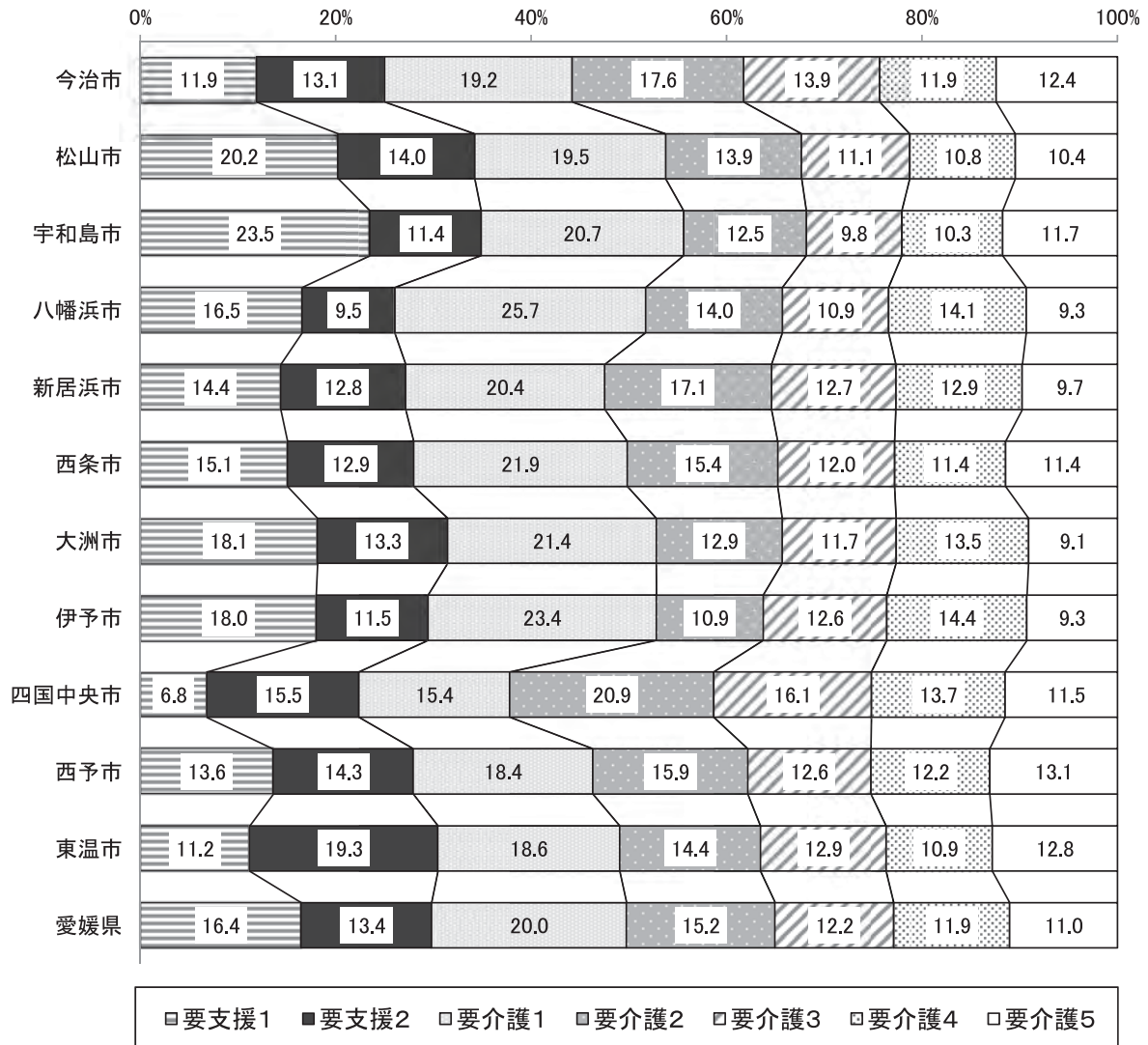
■ 要支援・要介護度別認定割合の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末日現在）

要支援・要介護認定者割合について県下 11 市と比較してみると、要支援 1 が低く、要介護 2 と 3 がやや高くなっています。

■ 県下 11 市の要支援・要介護認定者割合の比較（平成 27 年度末）



資料：介護保険事業状況報告（年報）

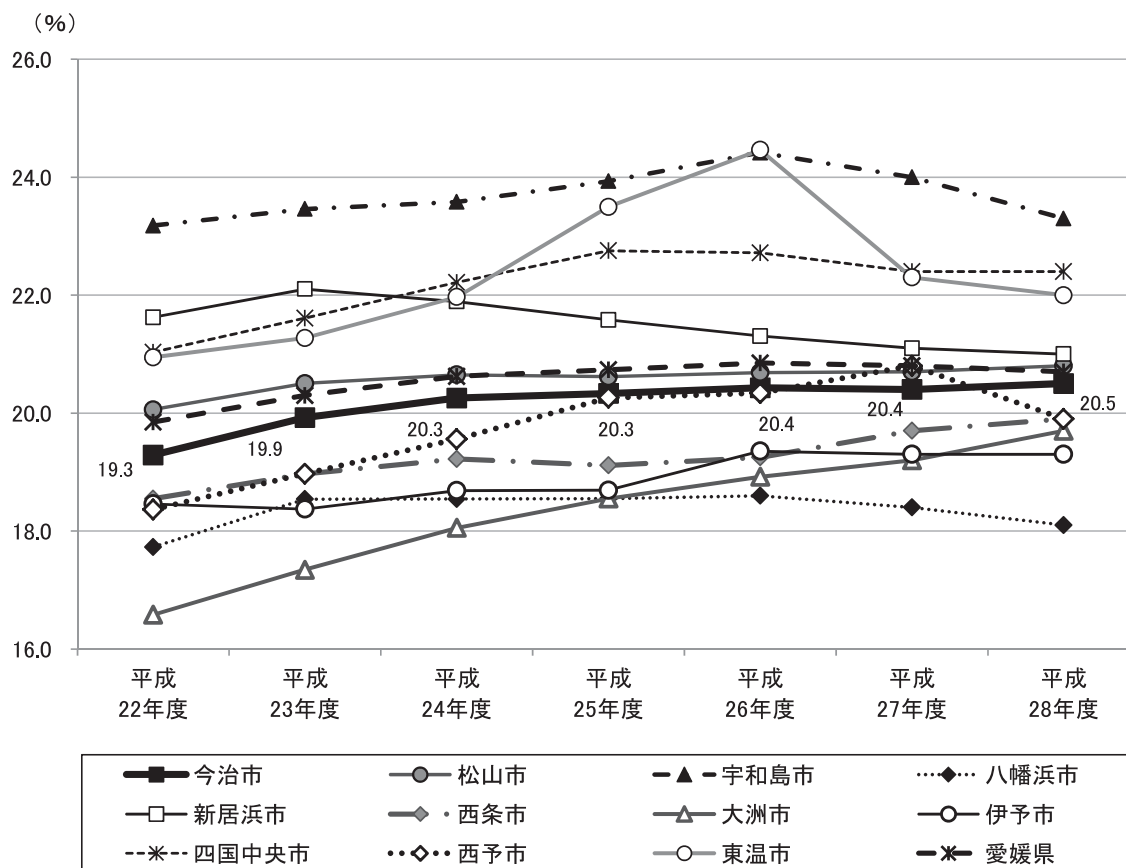
認定率の推移状況についてみると、本市は増加傾向にあります。一方で、他市と比較した場合、平成28年度では県平均よりやや低い認定率となっています。

■認定率の比較

単位：％

保険者	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
今治市	19.3	19.9	20.3	20.3	20.4	20.4	20.5
松山市	20.1	20.5	20.6	20.6	20.7	20.7	20.8
宇和島市	23.2	23.5	23.6	23.9	24.4	24.0	23.3
八幡浜市	17.7	18.5	18.5	18.6	18.6	18.4	18.1
新居浜市	21.6	22.1	21.9	21.6	21.3	21.1	21.0
西条市	18.5	19.0	19.2	19.1	19.2	19.7	19.9
大洲市	16.6	17.3	18.1	18.5	18.9	19.2	19.7
伊予市	18.5	18.4	18.7	18.7	19.4	19.3	19.3
四国中央市	21.0	21.6	22.2	22.8	22.7	22.4	22.4
西予市	18.4	19.0	19.6	20.3	20.3	20.8	19.9
東温市	20.9	21.3	22.0	23.5	24.5	22.3	22.0
愛媛県	19.8	20.3	20.6	20.7	20.8	20.8	20.7

資料：介護保険事業状況報告（年報）（28年度のみ月報）



## 2 高齢者人口等の推計

### (1) 高齢者人口の推計

総人口は、平成30年（2018年）の160,507人から平成32年（2020年）には156,938人に減少すると見込まれます。

高齢者人口については、平成30年（2018年）の54,953人から平成32年（2020年）には54,522人に減少しますが、高齢化率は34.2%から34.7%に上昇すると見込まれます。

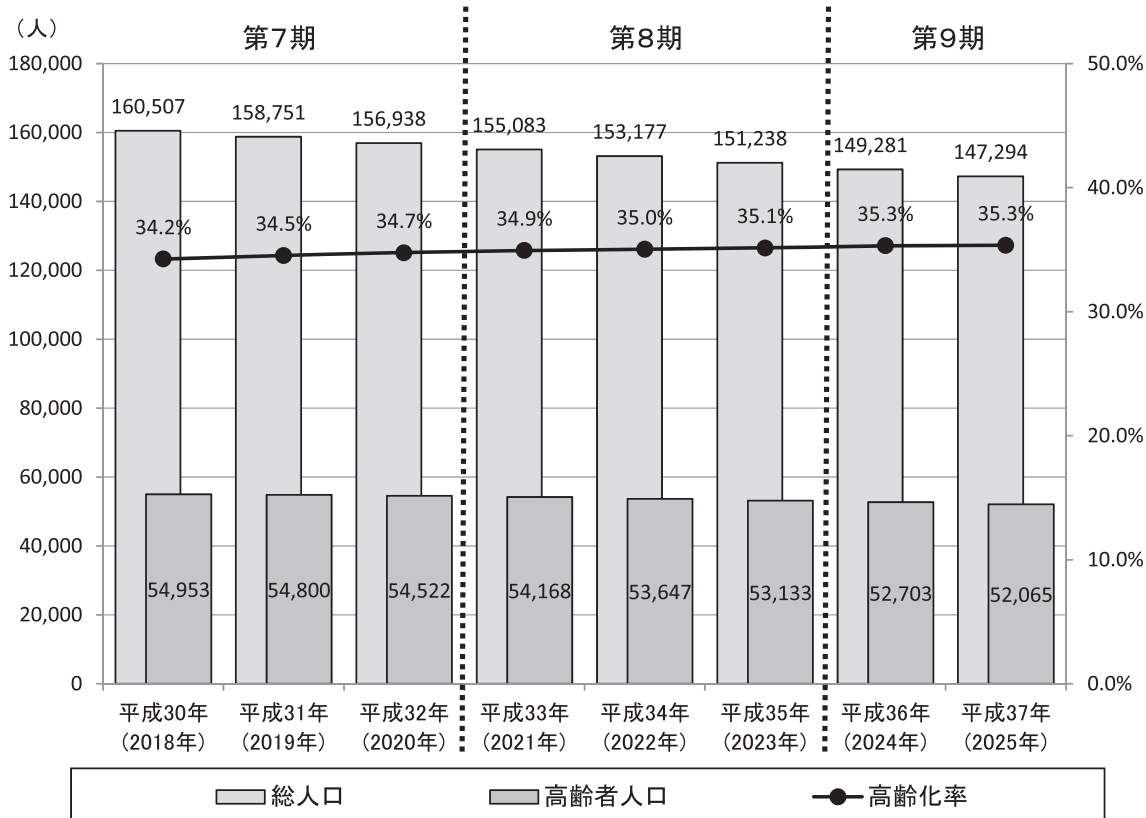
また、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年（2025年）には、総人口は147,294人となり、高齢化率は35.3%になると見込まれます。

#### ■人口の推計

単位：人、%

区分	第7期			第8期			第9期	
	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	平成32年 (2020年)	平成33年 (2021年)	平成34年 (2022年)	平成35年 (2023年)	平成36年 (2024年)	平成37年 (2025年)
総人口	160,507	158,751	156,938	155,083	153,177	151,238	149,281	147,294
年少人口(0～14歳)	18,126	17,713	17,385	16,952	16,542	16,069	15,599	15,147
総人口比	11.3	11.2	11.1	10.9	10.8	10.6	10.4	10.3
生産年齢人口(15～64歳)	87,428	86,238	85,031	83,963	82,988	82,036	80,979	80,082
総人口比	54.5	54.3	54.2	54.1	54.2	54.2	54.2	54.4
高齢者人口	54,953	54,800	54,522	54,168	53,647	53,133	52,703	52,065
総人口比	34.2	34.5	34.7	34.9	35.0	35.1	35.3	35.3

※平成25～29年（各年9月末現在）の住民基本台帳人口により、コーホート変化率法を用いて算出したもの

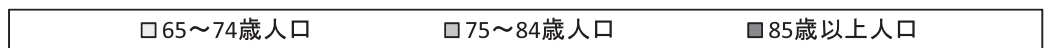
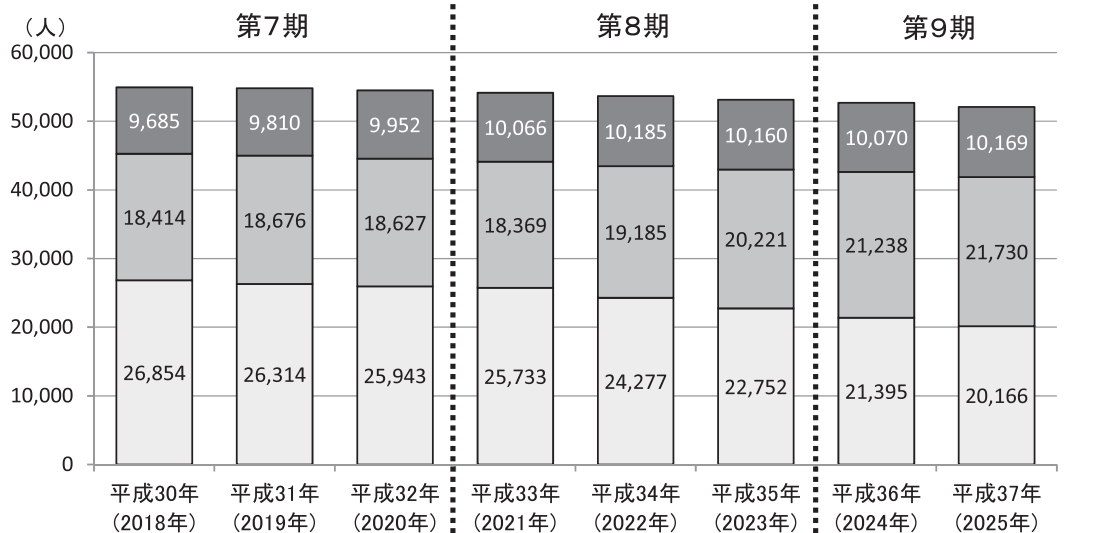


65～74歳人口については減少傾向が見込まれる一方で、75～84歳、85歳以上人口については増加傾向が見込まれていることから、要支援・要介護認定者の増加が今後も続くものと考えられます。

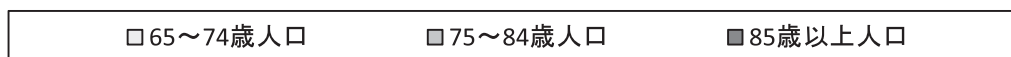
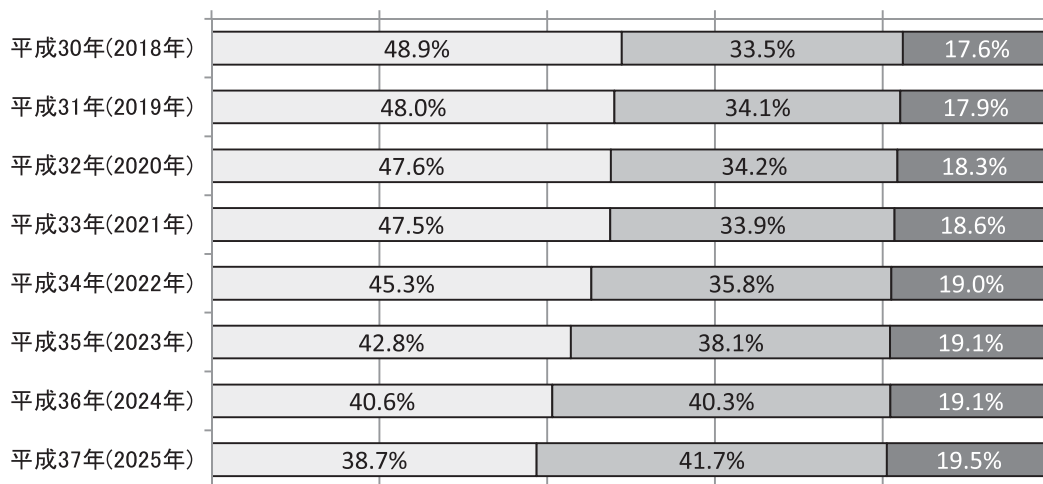
■高齢者人口の推計

単位：人、%

区 分	第7期			第8期			第9期	
	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	平成32年 (2020年)	平成33年 (2021年)	平成34年 (2022年)	平成35年 (2023年)	平成36年 (2024年)	平成37年 (2025年)
高齢者人口	54,953	54,800	54,522	54,168	53,647	53,133	52,703	52,065
65～74歳人口	26,854	26,314	25,943	25,733	24,277	22,752	21,395	20,166
高齢者人口比	48.9	48.0	47.6	47.5	45.3	42.8	40.6	38.7
75～84歳人口	18,414	18,676	18,627	18,369	19,185	20,221	21,238	21,730
高齢者人口比	33.5	34.1	34.2	33.9	35.8	38.1	40.3	41.7
85歳以上人口	9,685	9,810	9,952	10,066	10,185	10,160	10,070	10,169
高齢者人口比	17.6	17.9	18.3	18.6	19.0	19.1	19.1	19.5



0% 20% 40% 60% 80% 100%



## (2) 要支援・要介護認定者数の推計

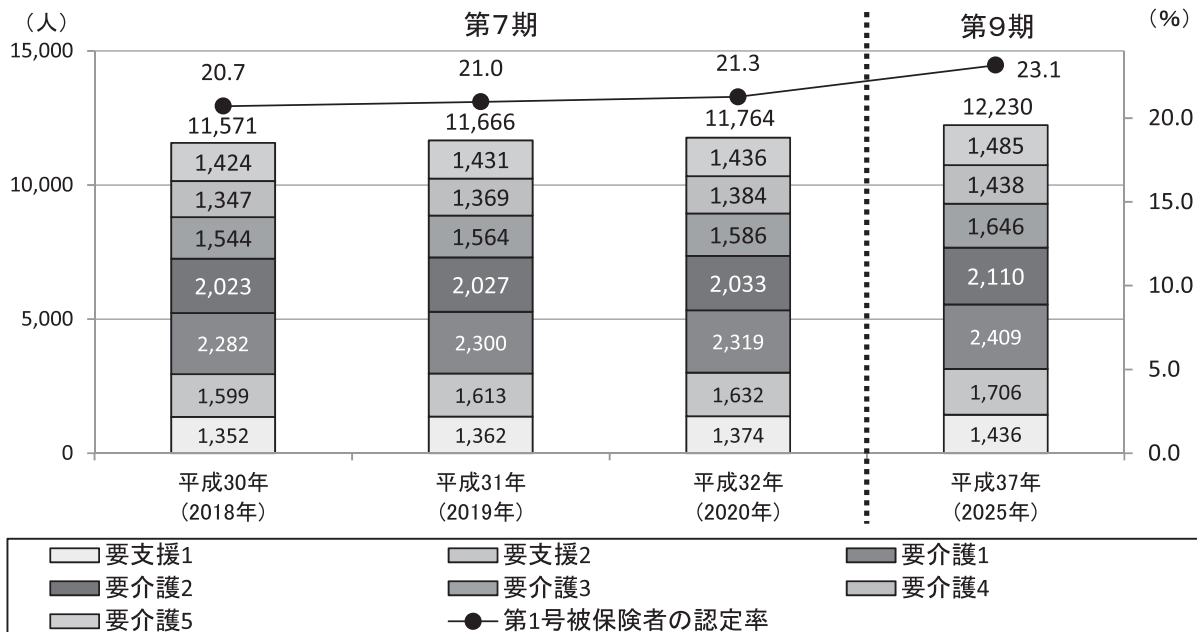
要支援・要介護認定者数は、平成30年(2018年)の11,571人から平成32年(2020年)には11,764人に増加すると見込まれます。

認定率も上昇が続き、平成37年(2025年)には23.1%まで上昇すると見込まれます。

### ■要支援・要介護認定者数の推計

単位:人、%

	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)
総数	11,571	11,666	11,764	12,230
要支援1	1,352	1,362	1,374	1,436
要支援2	1,599	1,613	1,632	1,706
要介護1	2,282	2,300	2,319	2,409
要介護2	2,023	2,027	2,033	2,110
要介護3	1,544	1,564	1,586	1,646
要介護4	1,347	1,369	1,384	1,438
要介護5	1,424	1,431	1,436	1,485
うち第1号被保険者数	11,380	11,486	11,592	12,051
要支援1	1,332	1,339	1,348	1,408
要支援2	1,569	1,578	1,593	1,665
要介護1	2,253	2,272	2,293	2,383
要介護2	1,990	2,007	2,024	2,102
要介護3	1,507	1,524	1,543	1,600
要介護4	1,326	1,344	1,355	1,408
要介護5	1,403	1,422	1,436	1,485
第1号被保険者の認定率	20.7	21.0	21.3	23.1



### 3 日常生活圏域別の状況

#### (1) 日常生活圏域別の人口の状況

平成29年9月末現在では、美須賀・日吉 22,540 人、立花 19,221 人、西 19,344 人、南 18,733 人で分布率 10%を超えています。

また、西を除く圏域では、平成28年から平成29年にかけて総人口は減少しています。

#### ■日常生活圏域別の総人口

単位：人、%

	平成27年		平成28年		平成29年	
	総人口	分布率	総人口	分布率	総人口	分布率
美須賀・日吉	23,100	14.0	22,776	13.9	22,540	13.9
近見	10,391	6.3	10,411	6.4	10,359	6.4
立花	19,231	11.7	19,245	11.8	19,221	11.9
桜井	14,951	9.1	14,739	9.0	14,608	9.0
南	19,030	11.5	18,844	11.5	18,733	11.5
西	18,825	11.4	19,224	11.7	19,344	11.9
北郷	14,667	8.9	14,536	8.9	14,325	8.8
朝倉	4,578	2.8	4,508	2.8	4,436	2.7
玉川	5,251	3.2	5,214	3.2	5,111	3.2
大西	8,615	5.2	8,604	5.3	8,541	5.3
菊間	6,227	3.8	6,091	3.7	5,947	3.7
大島	6,571	4.0	6,398	3.9	6,226	3.8
伯方	6,830	4.1	6,758	4.1	6,578	4.1
大三島	6,135	3.7	6,000	3.7	5,820	3.6
関前	466	0.3	438	0.3	412	0.3
計	164,868	100.0	163,786	100.0	162,201	100.0

資料：住民基本台帳（各年9月末日現在）



平成29年9月末現在では、菊間、大島、大三島、関前で高齢化率が40%を超えており、これらの圏域は75歳以上人口割合も高くなっています。

また、朝倉、大島、大三島、関前を除く圏域では、平成28年から平成29年にかけて高齢者人口は増加しています。

■日常生活圏域別の高齢者数（圏域別総人口に占める高齢者の割合）

単位：人、%

	平成27年		平成28年		平成29年	
	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
美須賀・日吉	7,686 33.3	4,133 17.9	7,752 34.0	4,173 18.3	7,780 34.5	4,200 18.6
近見	3,306 31.8	1,567 15.1	3,408 32.7	1,627 15.6	3,411 32.9	1,664 16.1
立花	5,343 27.8	2,454 12.8	5,467 28.4	2,608 13.6	5,567 29.0	2,710 14.1
桜井	4,576 30.6	1,995 13.3	4,699 31.9	2,119 14.4	4,797 32.8	2,200 15.1
南	5,561 29.2	2,419 12.7	5,706 30.3	2,535 13.5	5,824 31.1	2,643 14.1
西	4,908 26.1	2,293 12.2	5,053 26.3	2,439 12.7	5,107 26.4	2,487 12.9
北郷	4,697 32.0	2,210 15.1	4,763 32.8	2,303 15.8	4,815 33.6	2,405 16.8
朝倉	1,604 35.0	843 18.4	1,637 36.3	845 18.7	1,635 36.9	841 19.0
玉川	1,958 37.3	1,044 19.9	1,965 37.7	1,026 19.7	1,983 38.8	1,054 20.6
大西	2,558 29.7	1,104 12.8	2,611 30.3	1,159 13.5	2,666 31.2	1,226 14.4
菊間	2,500 40.1	1,392 22.4	2,502 41.1	1,417 23.3	2,514 42.3	1,426 24.0
大島	2,766 42.1	1,556 23.7	2,762 43.2	1,573 24.6	2,728 43.8	1,544 24.8
伯方	2,606 38.2	1,365 20.0	2,611 38.6	1,394 20.6	2,621 39.8	1,426 21.7
大三島	3,171 51.7	1,865 30.4	3,152 52.5	1,845 30.8	3,118 53.6	1,814 31.2
関前	324 69.5	207 44.4	314 71.7	197 45.0	299 72.6	188 45.6
計	53,574 32.5	26,457 16.0	54,402 33.2	27,260 16.6	54,865 33.8	27,828 17.2

資料：高齢介護課集計（各年9月末日現在）

## (2) 日常生活圏域別の認定者の状況

平成29年9月末現在で、65歳以上の高齢者人口比(認定率)が最も高いのは関前の29.8%、最も低いのは桜井、南、大西の18.0%となっています。

また、高齢者人口が減少している圏域では、認定者数も減少傾向がみられます。

### ■日常生活圏域別の要支援・要介護認定者数(圏域別高齢者人口に占める認定者の割合)

単位:人、%

	平成27年		平成28年		平成29年	
	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
美須賀・日吉	1,886 24.5	1,680 40.6	1,876 24.2	1,668 40.0	1,921 24.7	1,694 40.3
近見	657 19.9	544 34.7	692 20.3	575 35.3	720 21.1	620 37.3
立花	984 18.4	837 34.1	1,030 18.8	883 33.9	1,087 19.5	935 34.5
桜井	827 18.1	706 35.4	869 18.5	736 34.7	865 18.0	739 33.6
南	1,016 18.3	841 34.8	1,036 18.2	861 34.0	1,051 18.0	898 34.0
西	917 18.7	801 34.9	954 18.9	829 34.0	957 18.7	850 34.2
北郷	938 20.0	803 36.3	965 20.3	844 36.6	973 20.2	851 35.4
朝倉	388 24.2	345 40.9	383 23.4	344 40.7	354 21.7	317 37.7
玉川	469 24.0	421 40.3	476 24.2	434 42.3	488 24.6	449 42.6
大西	444 17.4	384 34.8	467 17.9	405 34.9	480 18.0	423 34.5
菊間	564 22.6	517 37.1	559 22.3	514 36.3	549 21.8	503 35.3
大島	609 21.9	547 34.9	605 21.9	551 35.0	621 22.8	560 36.3
伯方	506 19.4	452 33.1	491 18.8	441 31.6	477 18.2	439 30.8
大三島	683 21.5	623 33.4	687 21.8	619 33.6	677 21.7	628 34.6
関前	103 31.8	97 46.9	99 31.5	95 48.2	89 29.8	84 44.7
計	10,991 20.5	9,598 36.3	11,189 20.6	9,799 35.9	11,309 20.6	9,990 35.9

資料：高齢介護課集計(各年9月末日現在)

### (3) 日常生活圏域別の認知症高齢者等の状況

平成29年9月末現在で、認知症罹患率が20%以上の圏域は美須賀・日吉、玉川、大島、関前となっています。

#### ■日常生活圏域別の認知症高齢者等

単位：人

圏域	認知症高齢者の日常生活自立度							計	認知症罹患率
	I	II a	II b	III a	III b	IV	M		
美須賀	180	78	107	137	28	52	0	582	21.1%
日吉	354	145	261	191	48	54	3	1,056	
近見	248	76	132	120	25	40	3	644	18.9%
立花	335	166	189	193	34	55	3	975	17.5%
桜井	282	112	145	153	30	50	3	775	16.2%
南	297	128	196	209	60	61	1	952	16.3%
西	337	115	163	182	44	53	2	896	17.5%
北郷	253	107	211	172	50	47	4	844	17.5%
朝倉	108	49	61	66	12	30	0	326	19.9%
玉川	136	48	112	85	20	36	1	438	22.1%
大西	157	55	89	66	17	26	3	413	15.5%
菊間	161	64	114	91	15	46	5	496	19.7%
大島	172	87	131	110	16	27	2	545	20.0%
伯方	109	79	120	96	17	27	1	449	17.1%
大三島	195	81	118	118	27	49	5	593	19.0%
関前	40	6	15	10	2	1	0	74	24.7%
計	3,364	1,396	2,164	1,999	445	654	36	10,058	18.3%
(参考) 第2号被保険者	45	15	31	33	1	9	1	135	

資料：高齢介護課集計

(参考) 認知症高齢者の日常生活自立度

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでにできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる、やたら物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

## (4) 日常生活圏域別の施設・事業所・高齢者支援施設の状況

平成 29 年 9 月末現在の日常生活圏域別の基盤整備の状況は次のとおりとなっています。

### ■介護保険 3 施設の整備状況

単位：上段 施設数、下段 定員数

	施設数、定員数			計
	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	
美須賀	1 54	3 210		4 264
日吉	1 50	3 164	2 72	6 286
近見				0 0
立花				0 0
桜井	1 55	1 80		2 135
南	1 56	1 100	1 16	3 172
西	2 105	1 85		3 190
北郷	1 56	1 50	1 94	3 200
朝倉	1 50			1 50
玉川	1 53			1 53
大西	1 41	1 84		2 125
菊間	1 53			1 53
大島	1 50			1 50
伯方	1 50	1 50		2 100
大三島	1 50			1 50
関前				0 0
計	14 723	12 823	4 182	30 1,728

■地域密着型サービスの整備状況

単位:上段 施設数、下段 定員数

	施設数、定員数						計
	地域密着型 介護老人福 祉施設	認知症対応 型通所介護	認知症対応 型共同生活 介護	小規模多機 能型居宅介 護	看護小規模 多機能型 居宅介護	地域密着型 通所介護	
美須賀			2	1	1	3	7
			36	25	25	46	132
日吉		1	4	2		6	13
		12	63	50		82	207
近見			2	2			4
			36	50			86
立花			3	3		2	8
			54	76		25	155
桜井			2	2			4
			36	54			90
南	1	4	2	1		2	10
	29	39	27	29		33	157
西	1	1	1	2		4	9
	29	24	27	50		51	181
北郷	1	1	2	1		1	6
	29	3	45	25		10	112
朝倉			1	1			2
			18	25			43
玉川			1	1			2
			18	25			43
大西			1	1			2
			18	25			43
菊間		1	1	1			3
		3	18	25			46
大島			2	1			3
			27	29			56
伯方			1		1	1	3
			18		25	15	58
大三島			2	1			3
			27	22			49
関前			1			1	2
			18			10	28
計	3	8	28	20	2	20	81
	87	81	486	510	50	272	1,486

■高齢者支援施設の整備状況

	施設数					計
	老人福祉センター	老人憩の家・老人ふれあいの家	グループリビング	生活支援ハウス	養護老人ホーム	
美須賀						0
日吉						0
近見						0
立花						0
桜井					1	1
南		1			1	2
西						0
北郷	1					1
朝倉					1	1
玉川						0
大西	1					1
菊間		1	1			2
大島	1	1				2
伯方		5				5
大三島	1	8			1	10
関前				1		1
計	4	16	1	1	4	26

## 4 アンケート調査結果からみる高齢者の状況

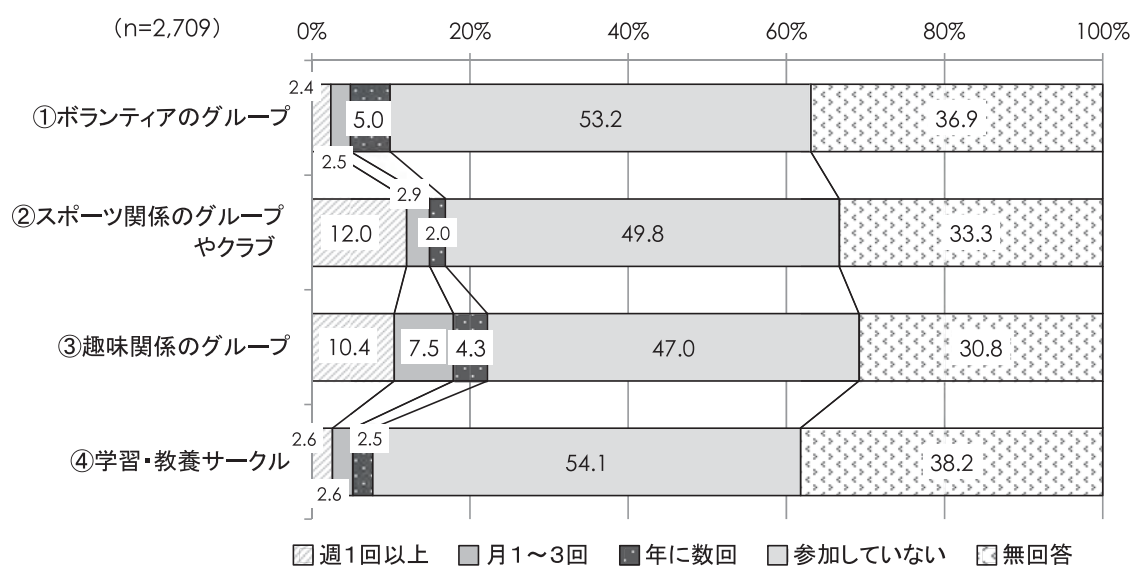
本計画の策定にあたり、要介護状態になる前のリスクの発生状況や、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の課題を特定するために「高齢者の暮らしに関するアンケート」を実施しました。

(1) 調査対象	65歳以上の今治市在住の高齢者（平成29年1月1日現在） より無作為抽出（要介護1～5以外の方）	
(2) 実施期間	平成29年2月1日～2月17日	
(3) 調査方法	郵送による配布・回収	
(4) 配布・回収状況	配布数	4,000
	回収数	2,732
	有効回収数	2,709
	有効回収率	67.7%

### (1) 社会参加の状況

社会参加の頻度についてたずねたところ、最も多い頻度は①ボランティアのグループでは「年に数回」(5.0%)、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループでは「週1回以上」、④学習・教養サークルでは「週1回以上」、「月1～3回」（ともに2.6%）となっています。

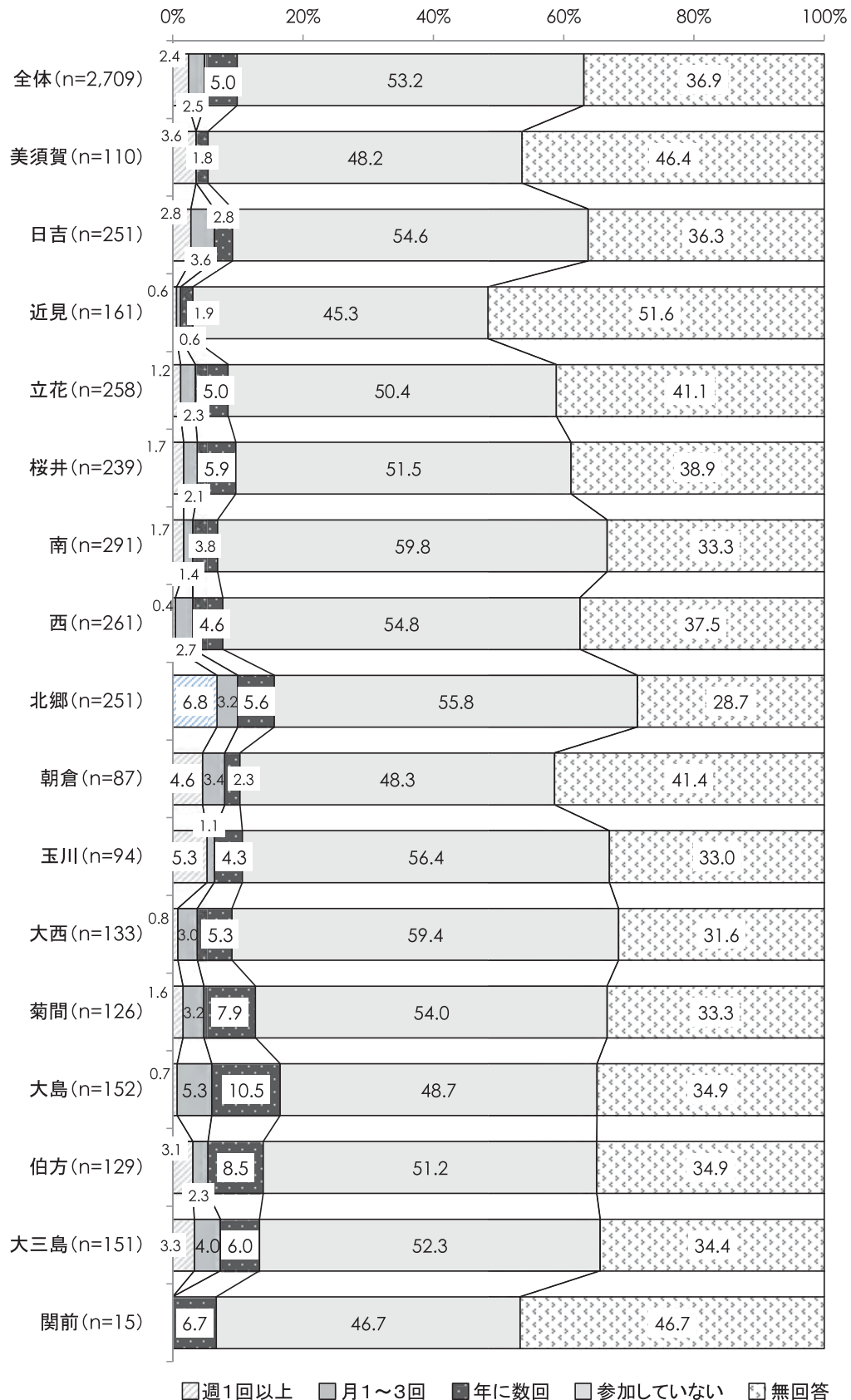
#### ■社会参加の状況（全体）





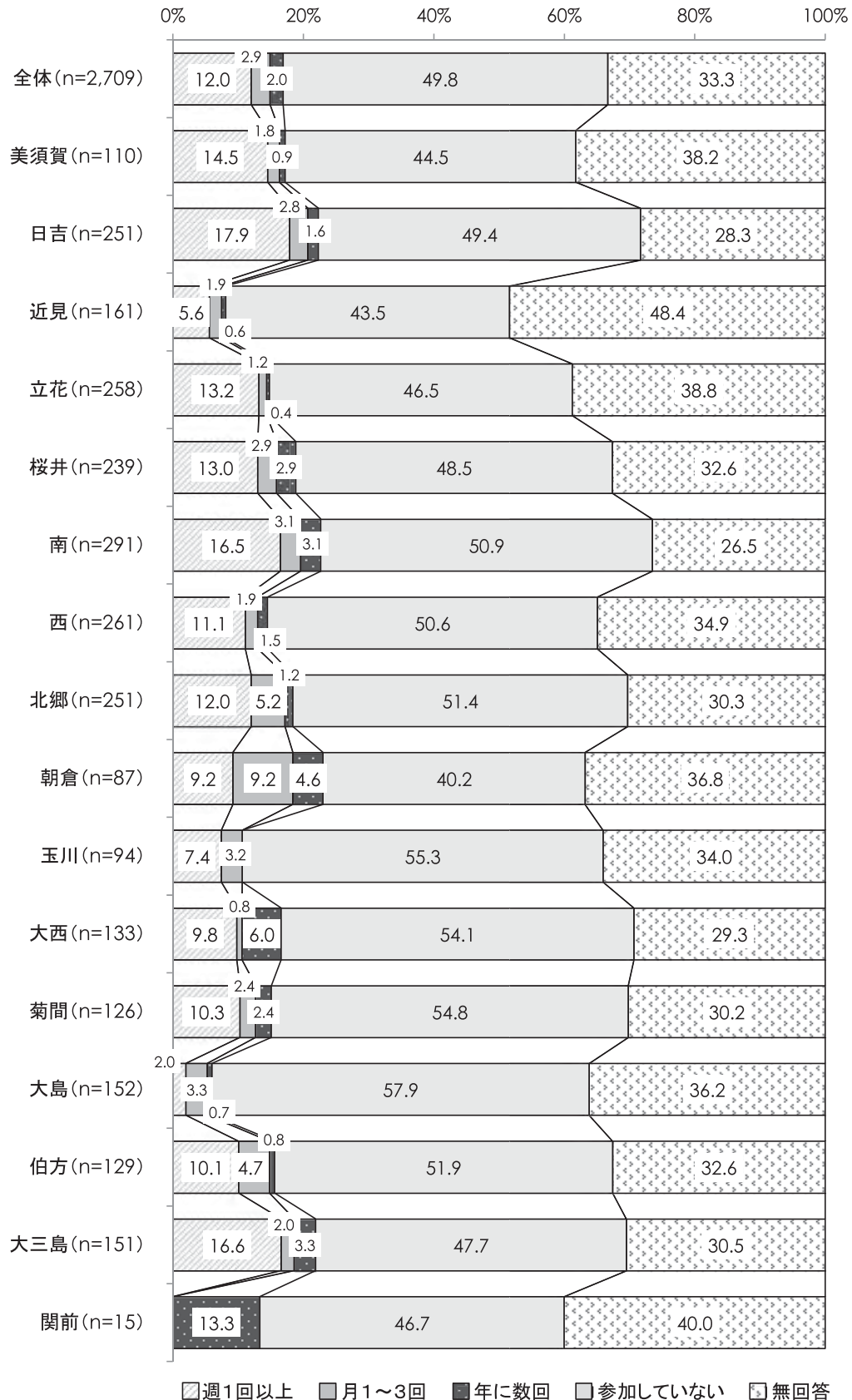
①ボランティアのグループへの参加状況を圏域別にみると、ほとんどの地区で「年に数回」との回答が多く、大島（10.5%）が最も高くなっています。

■社会参加の状況①ボランティアのグループ（全体、日常生活圏域別）



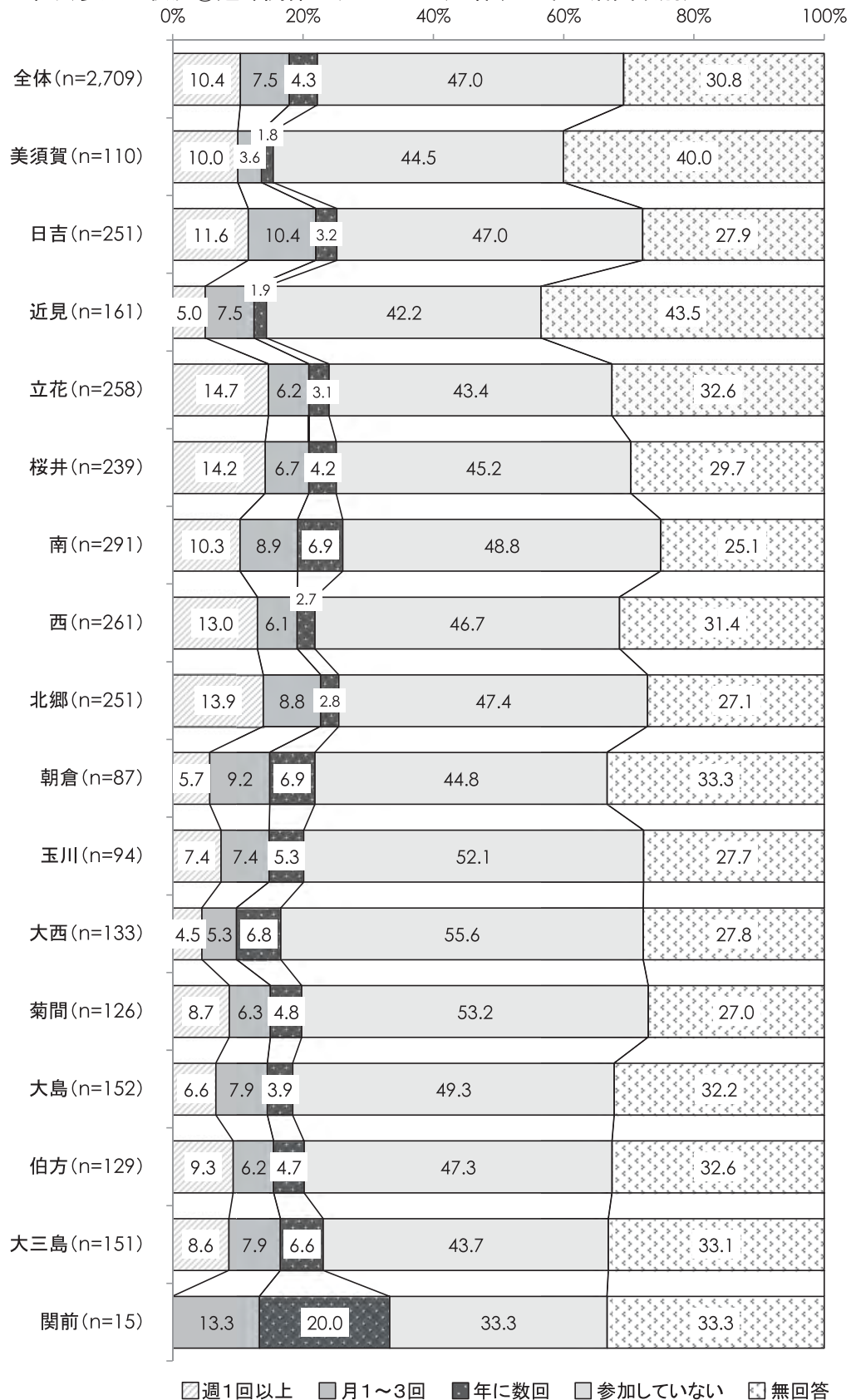
②スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況を圏域別にみると、日吉では「週1回以上」が17.9%、朝倉では「月1～3回」が9.2%など他の活動に比べて参加率が高くなっています。

■社会参加の状況②スポーツ関係のグループやクラブ（全体、日常生活圏域別）

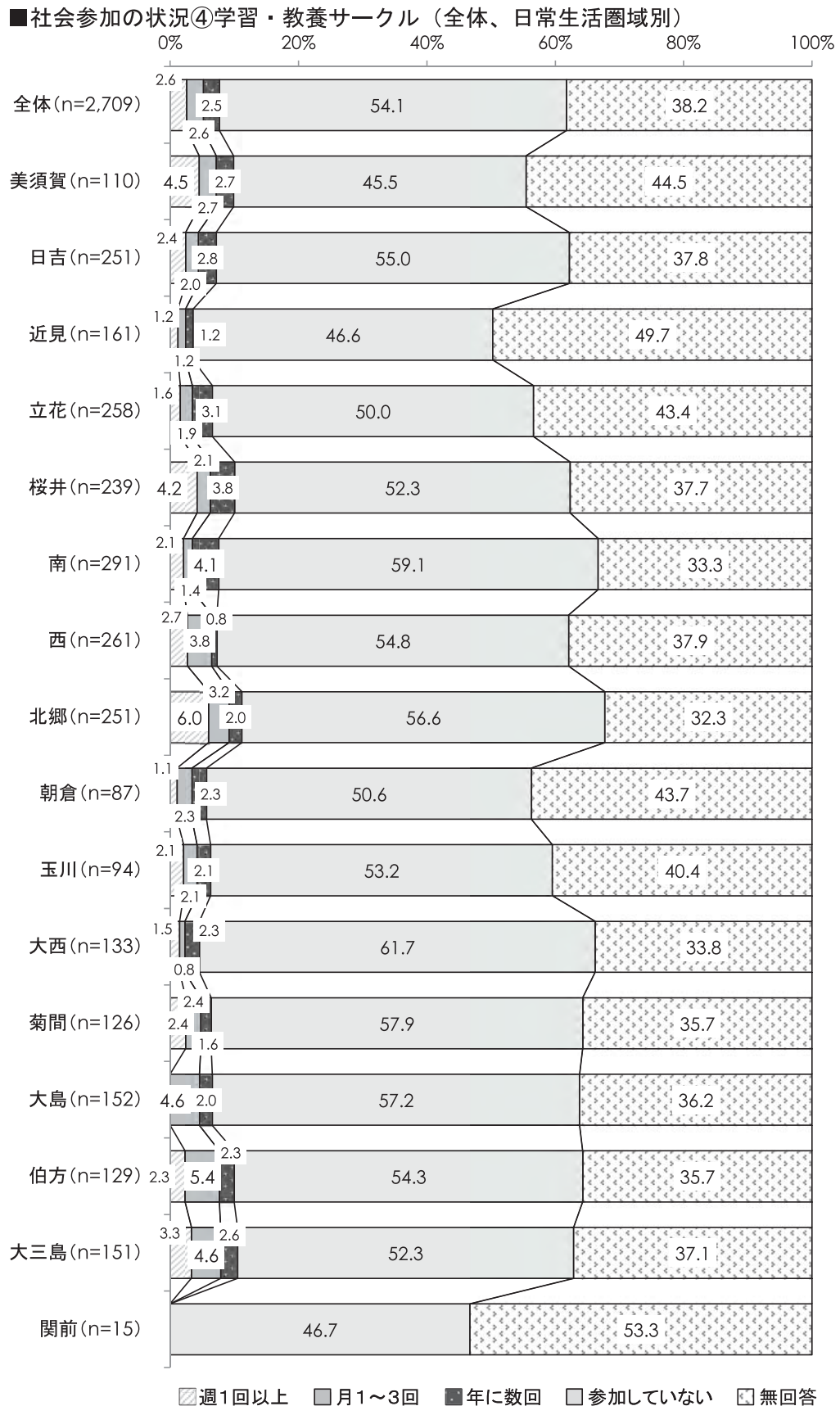


③趣味関係のグループへの参加状況を圏域別にみると、立花では「週1回以上」が14.7%、関前では「年に数回」が20.0%と他の活動に比べて参加率が高くなっています。

■社会参加の状況③趣味関係のグループ（全体、日常生活圏域別）



④学習・教養サークルへの参加状況を圏域別にみると、「参加していない」割合が他の活動よりも高く、大西では61.7%と6割を超えています。



## (2) 評価項目別の判定結果

	問NO.	質問項目	該当する選択肢
機 運 能 動 低 器 下 の	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか	「3. できない」
	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
	問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
	問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」or 「2. やや不安である」
リ ス ク 傾 倒	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
傾 も り 閉 じ こ も り	問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」or 「2. 週1回」
低 機 能 の 認 知	問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
う つ 傾 向	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
	問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

■判定方法……該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、または該当選択肢を回答した場合

- ①運動器の機能低下…該当: 3点以上
- ②転倒リスク…リスクあり: 該当選択肢を回答した場合
- ③閉じこもり傾向…リスクあり: 該当選択肢を回答した場合
- ④認知機能の低下…該当: 該当選択肢を回答した場合
- ⑤うつ傾向…リスクあり: 1点以上

### <老研式活動能力指標>

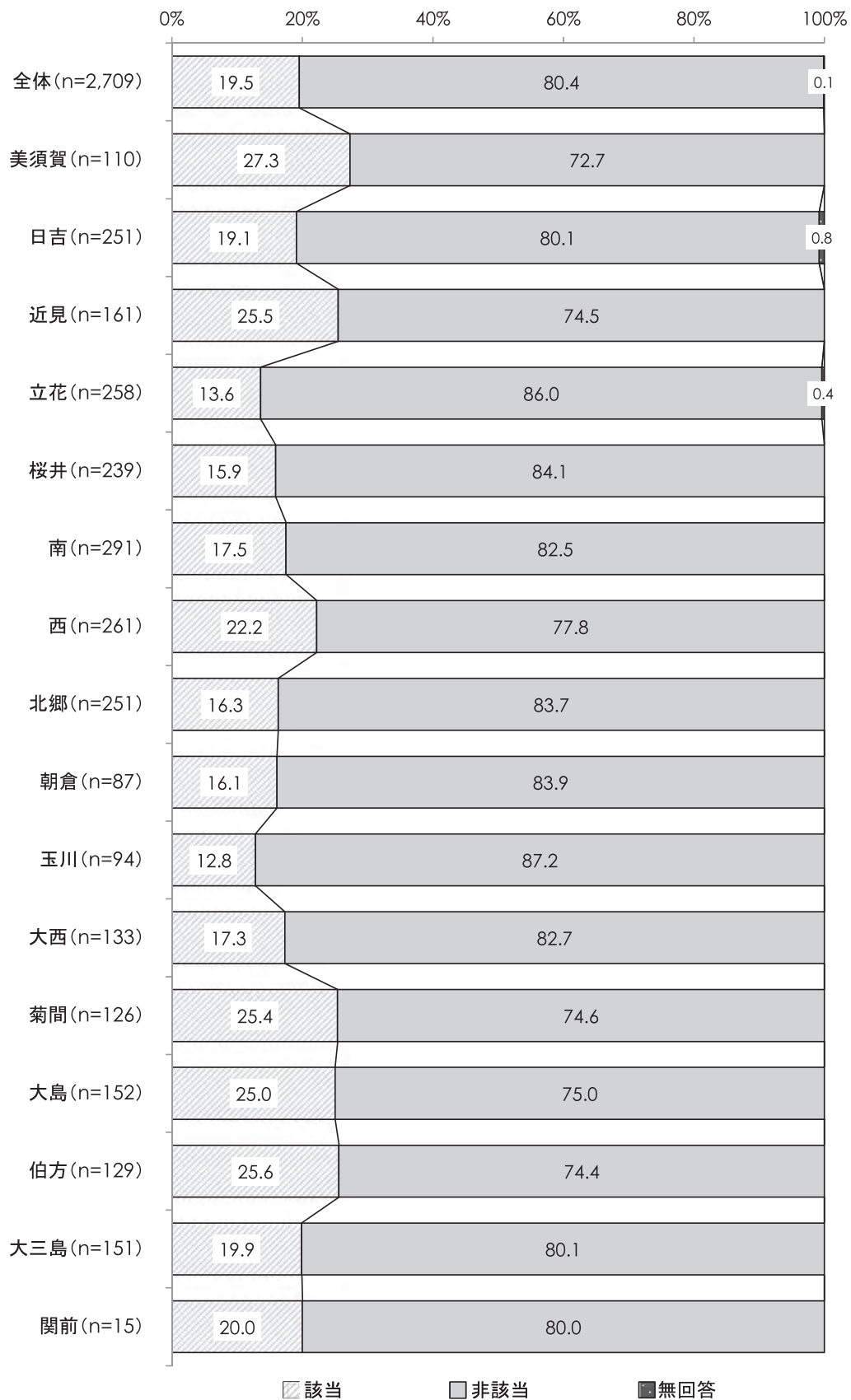
	問NO.	質問項目	該当する選択肢
I A D L	問4(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」 or 「2. できるけどしていない」 1点
	問4(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
	問4(4)	自分で食事の用意をしていますか	
	問4(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
	問4(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

■判定方法……該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点

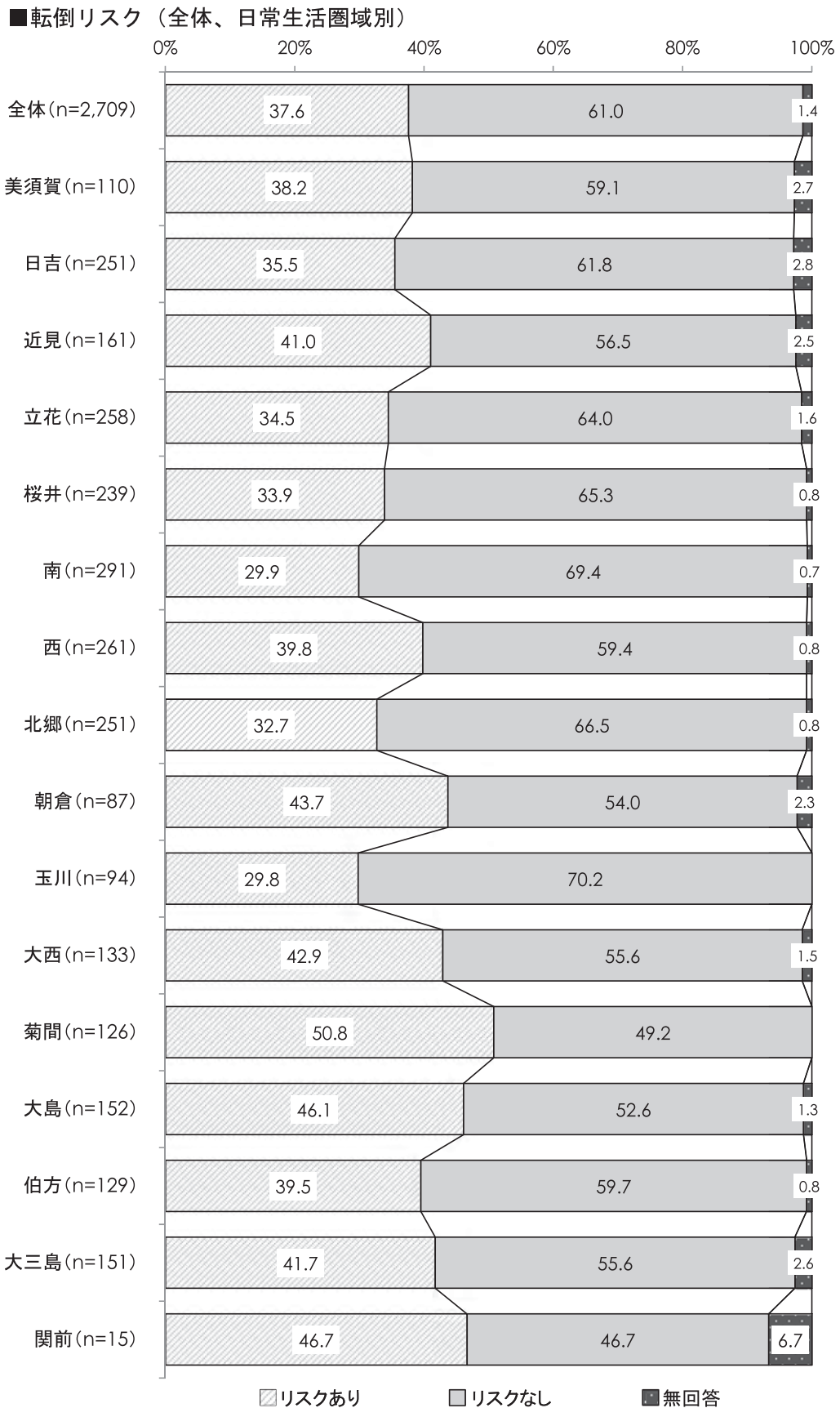
- 5点: 高い
- 4点: やや低い
- 0~3点: 低い

圏域別のリスク該当者の割合は、美須賀（27.3%）が最も高くなっています。

■運動器機能の低下（全体、日常生活圏域別）

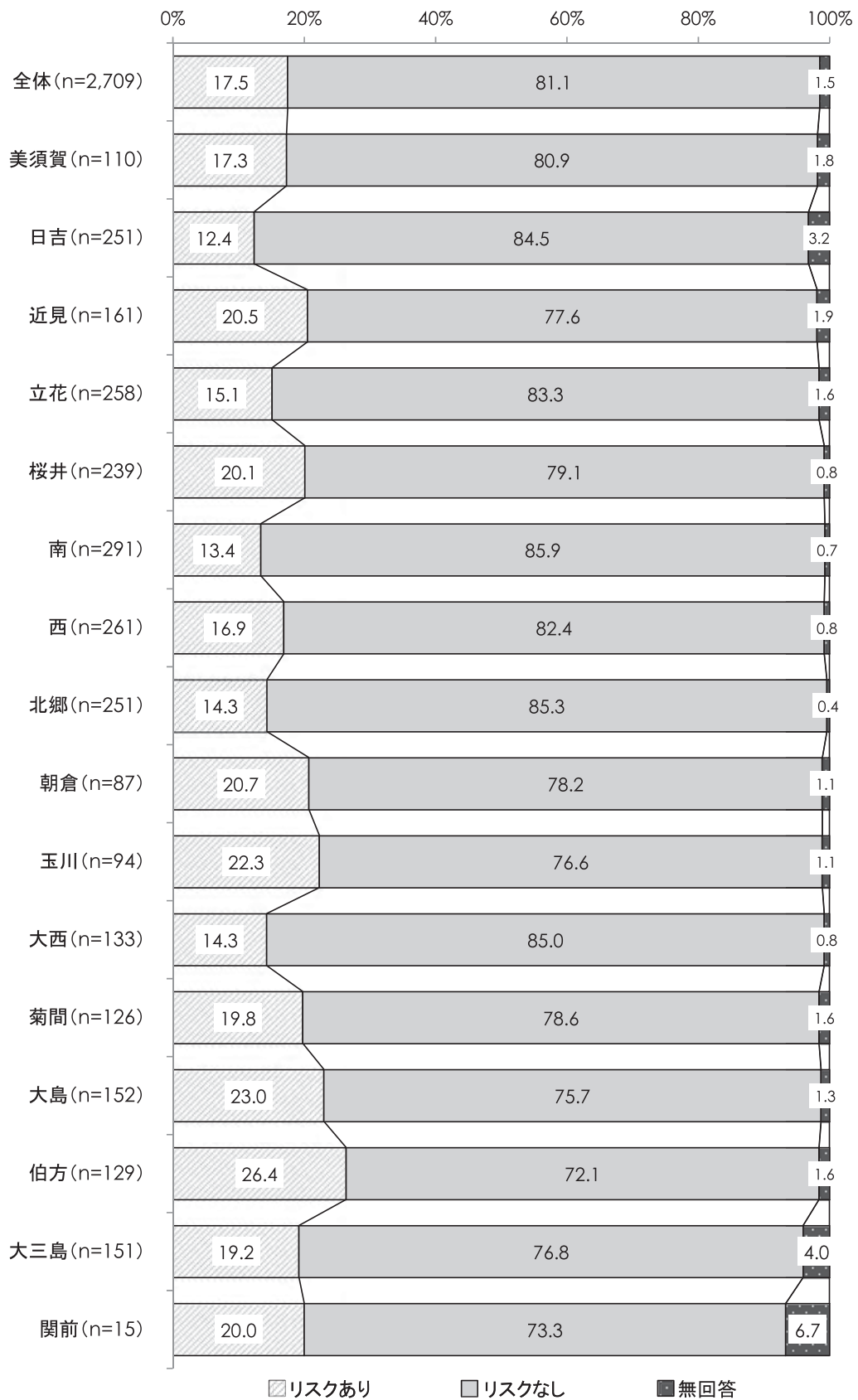


圏域別のリスク該当者の割合は、菊間（50.8%）、関前（46.7%）、大島（46.1%）、朝倉（43.7%）、大西（42.9%）、大三島（41.7%）、近見（41.0%）では4割を超えています。



圏域別のリスク該当者の割合は、伯方（26.4%）が最も高くなっています。

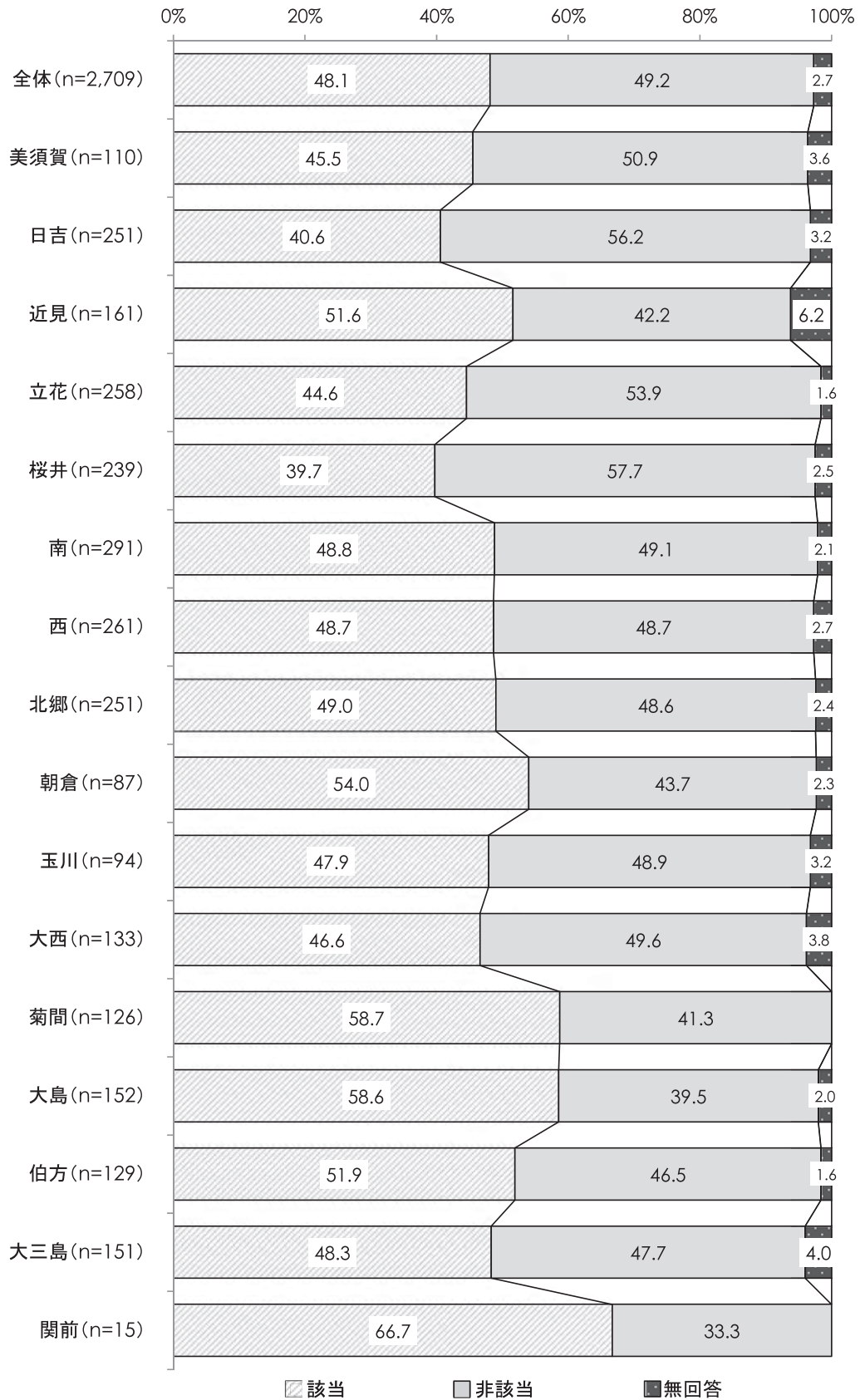
■閉じこもり傾向（全体、日常生活圏域別）





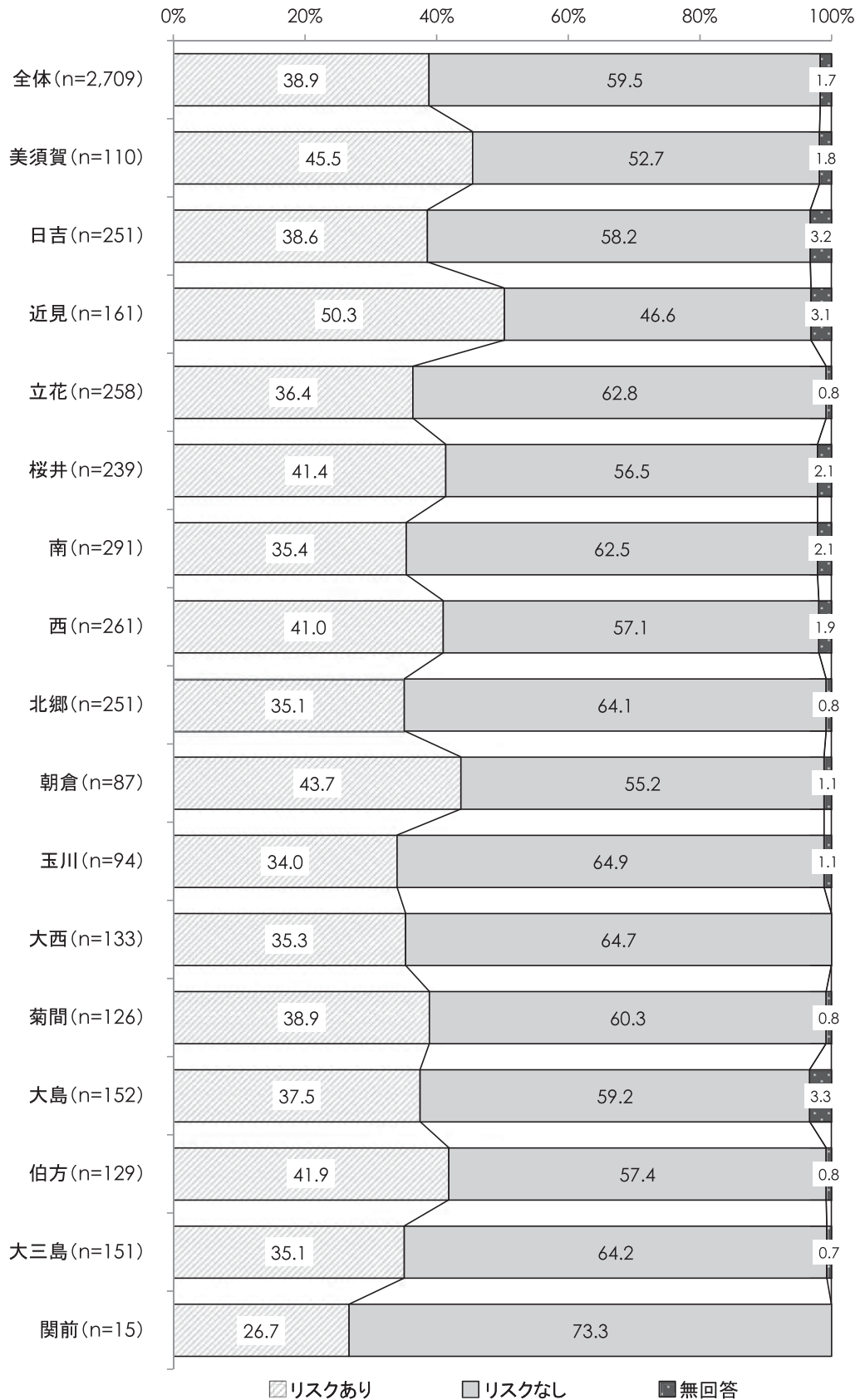
圏域別のリスク該当者の割合は、関前（66.7%）が6割を超え、菊間（58.7%）、大島（58.6%）、朝倉（54.0%）、伯方（51.9%）、近見（51.6%）では5割を超えています。

■ 認知機能の低下（全体、日常生活圏域別）



圏域別のリスク該当者の割合は、近見（50.3%）では5割を超え、美須賀（45.5%）、朝倉（43.7%）、伯方（41.9%）、桜井（41.4%）、西（41.0%）では4割を超えています。

■うつ傾向（全体、日常生活圏域別）



圏域別に「高い（5点）」の割合をみると、大西（85.0%）が最も高く、近見（73.3%）が最も低くなっています。



### (3) 日常生活圏域別の特徴・課題

アンケート調査結果から、日常生活圏域別に特徴・課題を整理すると次のとおりとなります。

※   は低評価

圏域	項目	特徴・課題
美須賀圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が少ない。(16圏域中2番目に低い参加率5.5%)
	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が少ない。(16圏域中2番目に低い参加率15.5%)
	運動器の機能低下	・該当者割合が16圏域中最も高い27.3%。
	うつ傾向	・リスクありの割合が16圏域中2番目に高い45.5%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が16圏域中2番目に高い13.6%。
日吉圏域	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が多い。(16圏域中3番目に高い参加率22.3%)
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が16圏域中最も低い12.4%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中2番目に低い40.6%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が16圏域中2番目に低い5.2%。
近見圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が少ない。(16圏域中最も低い参加率3.1%)
	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が少ない。(16圏域中2番目に低い参加率8.1%)
	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が少ない。(16圏域中最も低い参加率14.3%)
	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が少ない。(16圏域中2番目に低い参加率3.7%)
	運動器の機能低下	・該当者割合が16圏域中3番目に高い25.5%。
	うつ傾向	・リスクありの割合が16圏域中最も高い50.3%。
立花圏域	運動器の機能低下	・該当者割合が16圏域中2番目に低い13.6%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中3番目に低い44.6%。
桜井圏域	運動器の機能低下	・該当者割合が16圏域中3番目に低い15.9%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中最も低い39.7%。

圏域	項目	特徴・課題
南圏域	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が多い。 (16 圏域中 2 番目に高い参加率 22.7%)
	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が多い。(16 圏域中 2 番目に高い参加率 26.1%)
	転倒リスク	・リスクありの割合が 16 圏域中 2 番目に低い 29.9%。
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 2 番目に低い 13.4%。
西圏域	概ね全ての項目で全市平均に近い。	
北郷圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が多い。(16 圏域中 2 番目に高い参加率 16.4%)
	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が多い。(16 圏域中 3 番目に高い参加率 25.5%)
	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が多い。(16 圏域中最も高い参加率 11.2%)
	転倒リスク	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に低い 32.7%。
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に低い 14.3%。
	うつ傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に低い 35.1%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が 16 圏域中最も低い 4.8%。
朝倉圏域	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が多い。 (16 圏域中最も高い参加率 23.0%)
	うつ傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に高い 43.7%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が 16 圏域中最も高い 13.8%。
玉川圏域	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が少ない。 (16 圏域中 3 番目に低い参加率 10.6%)
	運動器の機能低下	・該当者割合が 16 圏域中最も低い 12.8%。
	転倒リスク	・リスクありの割合が 16 圏域中最も低い 29.8%。
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に高い 22.3%。
	うつ傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 2 番目に低い 34.0%。
大西圏域	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が少ない。(16 圏域中 3 番目に低い参加率 16.5%)
	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が少ない。(16 圏域中 3 番目に低い参加率 4.5%)
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が 16 圏域中 3 番目に低い 14.3%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が 16 圏域中 3 番目に低い 6.0%。

圏域	項目	特徴・課題
菊間圏域	転倒リスク	・リスクありの割合が16圏域中最も高い50.8%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中2番目に高い58.7%。
	IADL	・低得点者(0～3点)の割合が16圏域中3番目に高い11.9%。
大島圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が多い。(16圏域中最も高い参加率16.4%)
	社会参加	・スポーツ関係のグループやクラブへの参加が少ない。(16圏域中最も低い参加率5.9%)
	転倒リスク	・リスクありの割合が16圏域中3番目に高い46.1%。
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が16圏域中2番目に高い23.0%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中3番目に高い58.6%。
伯方圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が多い。(16圏域中3番目に高い参加率14.0%)
	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が多い。(16圏域中3番目に高い参加率10.1%)
	運動器の機能低下	・該当者割合が16圏域中2番目に高い25.6%。
	閉じこもり傾向	・リスクありの割合が16圏域中最も高い26.4%。
大三島圏域	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が多い。(16圏域中2番目に高い参加率10.6%)
	うつ傾向	・リスクありの割合が16圏域中3番目に低い35.1%。
関前圏域	社会参加	・ボランティアへの参加が少ない。(16圏域中3番目に低い参加率6.7%)
関前圏域	社会参加	・趣味関係のグループへの参加が多い。(16圏域中最も高い参加率33.3%)
	社会参加	・学習・教養サークルへの参加が少ない。(16圏域中最も低い参加率0.0%)
	転倒リスク	・リスクありの割合が16圏域中2番目に高い46.7%。
	認知機能の低下	・該当者割合が16圏域中最も高い66.7%。
	うつ傾向	・リスクありの割合が16圏域中最も低い26.7%。